

2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 85 一般社団法人明石青年会議所

記入日 2023年(令和5年)5月31日

1. 2030年までに達成したいこと	明石の明るい豊かな社会の実現	3. 関連するゴール									
	2. 取組の概要		(1) 率先してIT及びITC技術を活用し、所属する各企業、事業主に対し啓発を行い、その取り組みを後押しする。 (2) SDGsの理念を用いた事業を行い、市民や自らの意識付けを行う。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況							
(1)	所属する企業、事業主への DX や IT、ITC技術運用の見本となる。	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
			自社にIT技術の取り込みが促進された(所属会員)	50 %以上		14 %	
		2022年度		2021年度	2022年度	2023年度	
(2)	執り行う各事業で SDGsのどの項目に該当するか確認し、理事会で 承認を得る。	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
			事業実行担当者がSDGsの理念を用いることができた	50 %以上		80 %	
		2022年度		2021年度	2022年度	2023年度	
(3)		①目標値		②当初値	③実績値		達成度
				2020年度	2022年度	2023年度	

5. 取組結果	所属するメンバーの企業や事業においても84%以上がIT技術やツールが導入され、2022年度の青年会議所活動を通して55%以上の方がさらに導入が進んだとの回答を得た。新たな技術や環境の変化に関する知識を共有、実践していることが伺える。また、2022年度に明石青年会議所が行った事業の79%以上が SDGsを意識して構築された。早くからSDGsの理念を取り込んでいた当団体では2021年度も同程度の水準であったため、伸びという面では大幅な変化はなかった。	問合せ先	団体名：一般社団法人明石青年会議所 電話：080-5635-8503 メール：kunititsu0803@yahoo.co.jp 担当者：山田 晋充
---------	---	------	---

6. 今後の課題と取組	IT技術やツールは日々進化しており、便利な反面、正しく使えないと情報の漏洩などの危険性も伴う。明るい豊かな社会の実現を目指す問う団体として、固定概念に固執するのではなく柔軟な取り組みを行うためにも、新たな技術の導入を前向きに実践していき、所属メンバーや市民の皆さんにも伝播していき、継続していく。	連携希望	なし
-------------	--	------	----